



日本の野鳥カレンダー2025

撮影者コメント

撮影者のコメントや撮影エピソードを掲載しています。カレンダー写真と一緒に楽しみください。



表紙

世界自然遺産北海道知床半島。その半島に連なる羅臼岳の麓に涼しさを求めやってくる。一面に横たわるハイマツのロケーションで芽吹いたばかりの新緑の若葉をついばむギンザンマシコ。標高が高いため朝夕は霧が立ち込め、姿は発見しずらく、かすかな囁りを頼りに探し当てる、秘境知床でのひとときの初夏の思い出でした。

撮影 * 石橋 孝継

撮影場所 * 北海道 羅臼町

ギンザンマシコ
学名: *Pinicola enucleator*
英名: Pine Grosbeak



1月

毎年、1月になると、流氷の初認や接岸が気になります。20 余年前に初めて流氷観光船に乗った時、ガイドさんからあと 10 年もすれば、流氷は来なくなると聞いたことがあります。幸いにも、まだ途切れずに来ていますが、そびえるような流氷は減ってきて、高い場所を好む海鷲にとっても撮影する人にとっても貴重な存在になりました。

撮影 * 宮沢 安二郎

撮影場所 * 北海道 目梨郡

オジロワシ
学名: *Haliaeetus albicilla*
英名: White-tailed Eagle



2月

小さな神社の片隅で可愛らしいダンスを踊るトラツグミに出会いました。華麗にステップを踏みお尻フリフリ。扇子状に広げた尾羽も盛んに動かします。実は落ち葉の下に隠れているご馳走を見つける為の行動でした。野生で生き抜く知恵と器用さに感心しながら、終始笑顔での撮影となりました。

撮影 * 三島 明美

撮影場所 * 東京都 多摩市

トラツグミ

学名: *Zoothera dauma*
英名: Scaly Thrush



3月

いろいろな花々が咲く春の公園は、野鳥も賑やかになり鳥見には楽しい季節です。桜の花が咲いた早朝、いつものように園内を歩いていると、ヒメオドリコソウやセイヨウタンポポの群落の中を何羽かのツグミが歩いていました。そっと芝生に腹ばいになり、丁度良いアングルを狙ってシャッターを切りました。

撮影 * 宮 彰男

撮影場所 * 青森県 八戸市

ツグミ

学名: *Turdus naumanni*
英名: Naumann's Thrush



4月

雨上がりの芝生で、カワラヒワがタンポポの種を食べている様子です。小高く咲いたタンポポを、背伸びで食べているのが可愛らしかったです。早朝による弱い逆光が撮影のための良い雰囲気をつくってくれました。

撮影 * 永田 祐也

撮影場所 * 愛知県 名古屋市

カワラヒワ

学名: *Chloris sinica*
英名: Oriental Greenfinch



5月

山の小さな水場に毎年やってきてくれていたマミジロ、黒光りする身体と名前の通りの真っ白な眉をしたこの個体は、この年を最後に姿を見ることがなくなりました。いつもこの写真を見る度に、「今年も来ているよ」と聞き、何度会いに行っても見れなかった思い出が蘇ります。

撮影 * 野口 好博
撮影場所 * 群馬県 桐生市

マミジロ

学名: *Zoothera sibirica*
英名: Siberian Thrush



6月

6月初旬、北海道日本海の砂浜を散策中漂流物の陰から「ピィピィ」と鳴きながら小さな鳥が飛び立った。飛んだ先は幸いに高さ1.5m程の崖の上だ。そっと覗いてみるとシロツメグサが咲く荒地に黄色いアイリングが可愛いコチドリがいた。崖に体を隠しシロツメグサが咲く場所にやって来るのを待って撮影した。

撮影 * 山口 靖弘
撮影場所 * 北海道 小樽市

コチドリ

学名: *Charadrius dubius*
英名: Little Ringed Plover



7月

梅雨空の広がるこの時期、一面に美しい蓮花が咲く所があります。ここは広いゆえに、何処に休憩で止まるかはツバメ次第です。丁度小雨が降り始めた時に、近くをつぼみに降りたツバメを見つけました。蓮花のピンクと背景の緑が、黒いツバメを引き立ててくれて、あどけなさ一杯の愛らしい姿は、心に残る一枚になりました。

撮影 * 澤野 史枝
撮影場所 * 愛知県 愛西市

ツバメ

学名: *Hirundo rustica*
英名: Barn Swallow *Cisticola*



8月

この日は2日前くらいにまとまった雨が降り、川の流れがいつもより増えた自宅近くの堰で、コサギが川魚を追って堰の浅瀬を走り回っていました。急いで自宅に戻り、カメラを持って撮影に戻り、一瞬静止した瞬間をスローシャッターで撮ったものです。

撮影 * 吉本 直志
撮影場所 * 佐賀県 唐津市

コサギ
学名: *Egretta garzetta*
英名: Little Egret

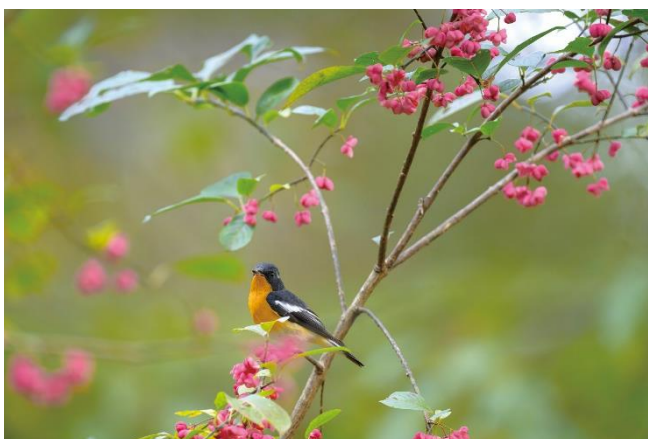


9月

秋の渡りのノビタキは、色々な花に絡んでくれるのでいつも楽しみにしています。その最初が彼岸花で真っ赤な花の上に留まるのをずっと待ち続け、やっと留まってくれました。ちょこんと留まるその姿は本当に可愛いですね。

撮影 * 大西 秀信
撮影場所 * 京都府 京都市

ノビタキ
学名: *Saxicola torquatus*
英名: African Stonechat



10月

この年の森では、早くもマユミの実が豊作でした。いつもなら果物買いと蕎麦の旅ですが、例年より早く食べごろになっていたようです。ムギマキも知っていたかのように、ちゃんとマユミに来てくれました。

撮影 * 井坂 瑞
撮影場所 * 長野県 長野市

ムギマキ
学名: *Ficedula mugimaki*
英名: Mugimaki Flycatcher



11月

秋が深まった頃、山里にある古刹を訪れた。山門の裏手を歩くと「ヒッヒッ カツカツ♪」と鳴く、ジョウビタキの声が聞こえる。どこだろう?と探すと、秋色に染まったニシキギの枝の上にその姿を見つけた。ジョウビタキは雌で赤い実を食べにきていた。早速レンズを向け朝の光りを背景に被写体が輝く画面構成でシャッターをリリースした。

撮影 * 野口 正裕

撮影場所 * 東京都 あきる野市

ジョウビタキ

学名: *Phoenicurus aureus*

英名: Daurian Redstart



12月

この年は真っ白な小さなズミの花がびっしり咲いた当たり年だった。毎年11月下旬から12月初旬はズミの小さな赤い実を食べにやってくるエゾライチョウの撮影を期待する時期だ。早朝一人静に待っていると歩いて現れたエゾライチョウがズミに飛び上がり、実をついばみながら枝先まで出てきた。

撮影 * 吉田 幸弘

撮影場所 * 北海道 苫小牧市

エゾライチョウ

学名: *Tetrastes bonasia*

英名: Hazel Grouse

公益財団法人 日本鳥類保護連盟

Japanese Society for Preservation of Birds

〒166-0012

東京都杉並区和田 3-54-5 第10田中ビル 3階

TEL ◇ 03-5378-5691 FAX ◇ 03-5378-5693

HP ◇ <https://www.jspb.org/>

